

平成30年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：野菜担当

内線：4082

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B55	新たな農産物需要創出支援事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費		
事業期間	平成29年度～平成31年度	根拠法令	なし				宣言項目	09	儲かる農業の推進	
							分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立	
1 事業概要				5 事業説明						
<p>少子・高齢化の進行に伴い農林水産物の需要の減少が見込まれる中、県産農林水産物の新たな需要の創出が課題となっている。そのため、農業者、流通業者、飲食業者、県機関等が連携して「地域食材を活用したニッチなフード・ビジネス」を展開し、実需者の需要に対応した生産に取り組む「地消地産」を進める中から県産農林水産物の新たな需要の創出を図る。</p> <p>(1) 新たな農産物需要創出支援活動 4,365千円 (2) 新たな農産物需要創出整備事業 2,000千円</p>				<p>(1) 事業内容 新たな県産農林水産物の需要の創出を図るため、以下の取組を行う。</p> <p>ア 新たな農産物需要創出支援活動 4,365千円 農業者、流通業者、飲食業者、県機関等が連携して「地域食材を活用したニッチなフード・ビジネス」を展開するため、以下の取組を行う。(12地区) (ア) 導入する新たな作物等の選定に関するアドバイス (イ) 新たな作物等に関する栽培特性等の調査及び情報提供 (ロ) 土壌分析等に基づく栽培適地の選定や土壌改良等の指導 (ハ) 地域に適した栽培体系の確立支援（栽培展示ほの設置、試験栽培の指導等） (ニ) 収穫物の商品性評価（収量や貯蔵性の確認、成分分析等） (ホ) 広域的な販売に向けた販促PR活動の支援</p> <p>イ 新たな農産物需要創出整備事業 2,000千円 新たな需要の創出に取り組む品目の生産拡大、流通の改善等に必要な機械・施設等の整備に対する助成。(2地区)</p> <p>(2) 事業計画 ア 新たな農産物需要創出支援活動 3カ年継続 (H29～H31) 12地区 イ 新たな農産物需要創出整備事業 3カ年実施 (H29～H31) 2地区/年</p> <p>(3) 事業効果 県産農林水産物の新たな需要の創出</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 事業実施主体、市町村との連携による推進</p>						
2 事業主体及び負担区分										
(1) (県10/10) (2) (県1/2)市・生産者団体等1/2										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×1.0人＝ 9,500千円										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入							
決定額	6,365		1					6,364	△2,082	
前年額	8,447	3,947						4,500		